

# JTCAシンポジウム2025 On the Web 総括イベント

2025年11月25日（火）

# 自己紹介

藪木 祐人（やぶき まさと）＜シンポジウム2025全国区実行委員会議長＞

株式会社バッファロー デザイン室 ドキュメント係

- ・取扱説明書の作成、翻訳
- ・アプリや設定画面のUIテキストの作成、翻訳

## 業務履歴

- ・1994年 株式会社メルコ（現 株式会社バッファロー）入社
- ・ネットワーク製品（LANボードなど通信ボード）開発業務
- ・ネットワーク製品の開発業務と取扱説明書制作業務の兼務
- ・取扱説明書制作専任となり、Wi-Fi製品立ち上げ時に取扱説明書制作を担当
- ・取扱説明書制作とUIテキスト制作業務

## テクニカルコミュニケーター協会での活動

- ・シンポジウム関西地区実行委員（2022年～）
- ・TC協会 評議員（2024年～）
- ・シンポジウム2025全国区実行委員会 議長

# CDシンポジウム2025 テーマに込めた思い

テーマ：**磨こう！伝える力**

下記を考えるシンポジウムにしたい

- ①社内コミュニケーション
- ②次の世代との関わり
- ③お客様とのコミュニケーション
- ④他社の取り組み・業界情報の収集・教育
- ⑤取説部門の地位向上

社内、次の世代、お客さま、TC業界との  
**コミュニケーション力（伝える力）を磨いていきたい**

## 開催形態

2020年以降Zoom開催だったが、2025年は1日目をリアル開催に

1日目：リアル開催 @名古屋

2日目：オンライン開催 @Zoom

3日目：オンライン開催 @Zoom

- ・ CDシンポジウムでもリアルな交流がしたい
- ・ どこからでも参加できるオンラインの良さも残したい



リアルおよびオンラインの**ブレンデッド開催**

議長会社バッファローの本社がある**名古屋で開催**

**基調講演はリアルで**。聴くだけではなく参加者も頭を使う

**1日目夜に交流会**を開催。業界間の情報交換を行う

## 開催形態に関するアンケート

- ・やはり対面開催は良いと思った
- ・対面開催はオンラインと異なり、リアリティがあり理解度が高まると感じた。
- ・オンライン開催のセッションは参加しやすく非常にありがたい。
- ・オンライン参加は費用面でも助けになる。

**対面、オンラインの“いいところ”ができた**

## 基調講演

佐々木圭一さん

コピーライター、作詞家、上智大学 非常勤講師、株式会社ウゴカス代表

テーマ：伝え方が9割 ～「ノー」を「イエス」に変える技術～

- ・「聴く」から「一緒に考える・体験する」へ

オンラインでは味わえない、リアルならではの臨場感と一体感を生む参加型の基調講演

- ・業務に直結する「伝える力」を磨くための実践的な内容

業務で必須のスキルを能動的に学び、その日から使える「伝える力」の技術を習得

## セッションの構成

前半45分 「伝え方を磨く」座学

後半45分 「伝え方の技術」が身につくワークショップ（2人ペア）

## 基調講演の参加者アンケート

伝え方に技術がある。伝え方で結果が変わる。この言葉に、ハッとさせられました。

相手のことを考えることが足りないことを、ワークを通してとても実感できました。

とっても楽しい時間でした。仕事でもプライベートでもすぐに実践できる技術を教えていただき、大大満足です。

具体的にワークショップもあり、参加者同士で頭をフル回転させてトレーニングできたので、楽しかった。

## CDシンポジウム参加者

**40セッション 参加者のべ1,817名 登録ユニーク人数は1,000名**

リアル 8セッション のべ 241名 30.125名/セッション  
名古屋会場参加者 174名

参考)

2025年10月TCシンポ 62セッション 京都リアル 33.0名/セッション

2024年10月TCシンポ 51セッション 京都リアル 29.5名/セッション

リモート 32セッション のべ1576名 49.25名/セッション

参考)

2024年 47セッション リモート 57.4名/セッション

2023年 44セッション リモート 54.7名/セッション

**懇親会参加者 64名**



# 参加が多かったセッション リアル開催 1日目

上位3位（リアルセッション全8セッション）

	タイトル名	人数
25-CD00	【基調講演】伝え方が9割 ～「ノー」を「イエス」に変える技術～	56
25-CD03	【パネルディスカッション】「磨こう！伝える力」をみんなで考えよう！ ～東海地方の企業と考える～	39
25-CD04	【パネルディスカッション】継承と進化：TCスキルを育む仕組みと実践を考える	35

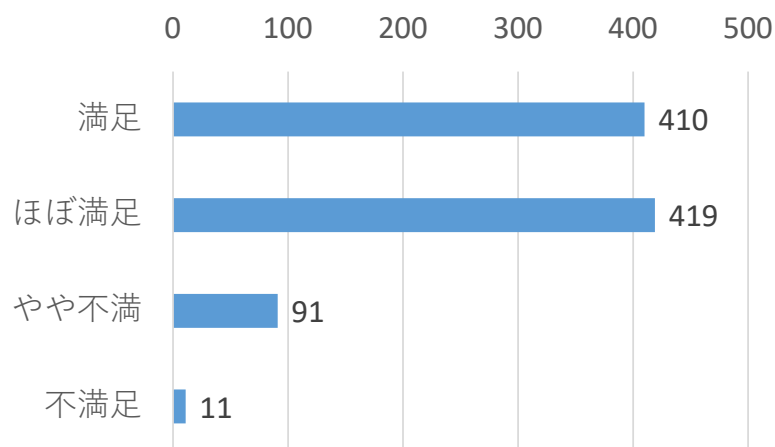
## 参加が多かったセッション オンライン開催 2日目、3日目

上位7位（オンラインセッションは、全32セッション）

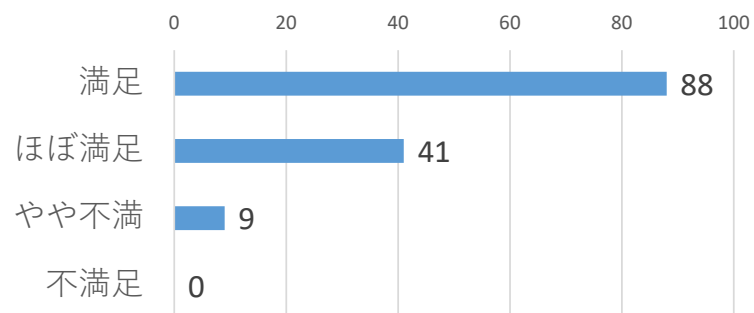
	タイトル名	人数
25-CD13	【トークセッション】AI時代の文章～あいまいさに逃げない日本語ライティング～	146
25-CD11	【トークセッション】テクニカルコミュニケーターが知っておくべきインフォメーションアーキテクチャ	114
25-CD09	【トークセッション】IT系企業のテクニカルコミュニケーターは伝える力をどう磨いている？	89
25-CD33	【事例研究発表】つながる、ひろがる、Webマニュアル制作～ゼロから作らない！AI時代のスマートなワークフロー～	89
25-CD08	【トークセッション】アクセシブルな取説を考える	88
25-CD14	【トークセッション】「自」と「他」の「伝わる」を設計する	86
25-CD15	【トークセッション】動画全盛時代における文字の役割と新たな可能性を探る	83

# CDシンポジウム全体アンケート

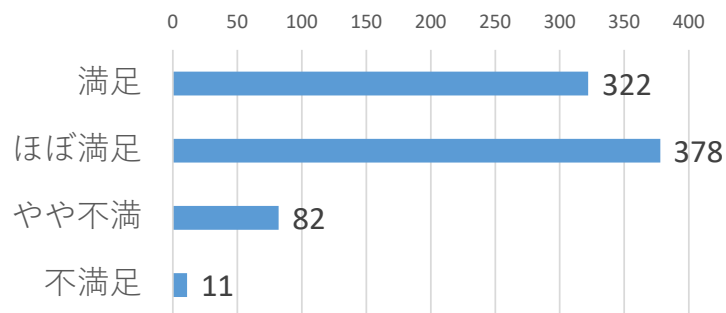
## 満足度



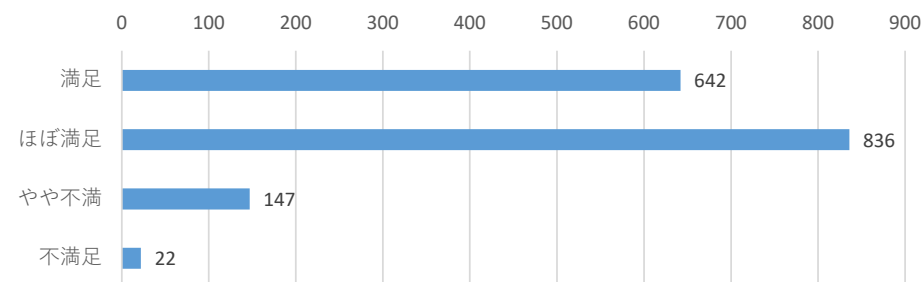
## リアル



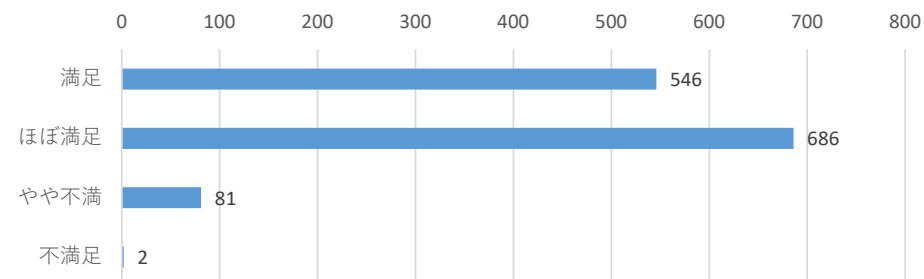
## オンライン



## 2024年



## 2023年



## 25-CD03 「磨こう！伝える力」をみんなで考えよう！ ～東海地方の企業と考える～

東海地方の企業の方にパネリストとして登壇いただき、  
CDシンポジウム2025のテーマ「磨こう！伝える力」について考えるセッションを行った。

前半のテーマ：「社内・次世代・顧客とのコミュニケーション」

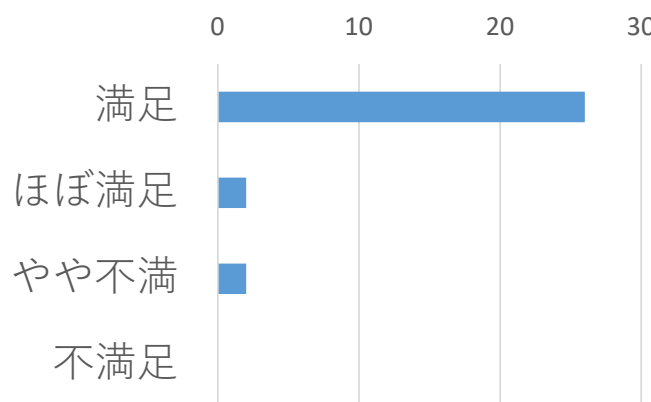
- ①社内コミュニケーションの課題
- ②次の世代（若者）との関わり
- ③お客様とのコミュニケーション

後半のテーマ：「最新情報入手と地位向上」

- ④他社の取り組み・業界情報の収集・教育
- ⑤取説部門の地位向上

登壇者が実践していること、困っていること、今後の課題などを発表し、共有した。  
そのあと、聴講者間のグループディスカッションを通して、各企業での取り組みや考え方について、意見交換し合い、交流を深めた。

## 25-CD03 「磨こう！伝える力」をみんなで考えよう！ ～東海地方の企業と考える～



### <アンケート>

- ・他社の課題や悩みを知ることができた
- ・自社の課題の意見を他社から聞くことができた
- ・社内・次世代とのコミュニケーションの課題は他社も同様
- ・他社との交流が必要
- ・対面で他社とたくさん交流ができ、とても楽しかった
- ・他社交流の貴重な機会で、とても有意義でした
- ・時間が足りないくらいだった
- ・今後も他社とディスカッションするセッションに参加したい

満足	26	86.7%
ほぼ満足	2	6.7%
やや不満	2	6.7%
不満足	0	0.0%

**他社との活発な交流を通じて、共通課題に気づき、  
新たな視点を得た有意義な機会となった。**

## まとめ

- ・ **リアルとオンラインのブレンデッド開催**

現地で交流や意見交換ができるリアル形式と、どこからでも参加できるオンライン形式の両方のセッションを開催。遠隔地からもオンラインでシンポジウムに参加可能。

- ・ **リアルならではの聴講者参加型の基調講演、セッションを開催**

リアルの臨場感に加え、体験やディスカッションすることで参加者がより深い学びを得ることができた。また、交流会でさらに交流を深めることが可能。

- ・ **東海地方のTC業界の活性化**

東海地方の企業が多く参加し、活発な意見交換と交流を実現。  
東海地方のTC業界のさらなる発展・活性化につながることを期待。